

ちく し の し けつ さん ほう こく 筑紫野市の決算報告

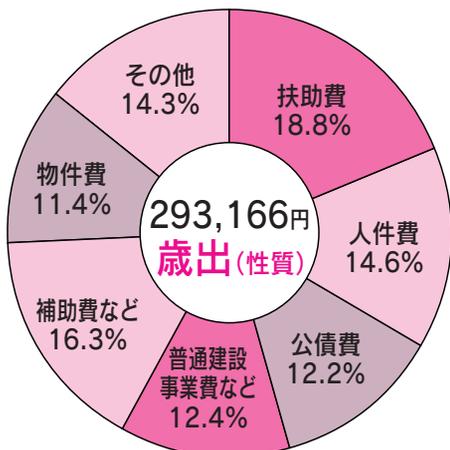
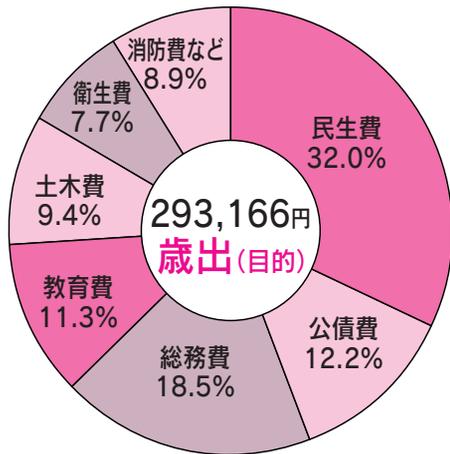
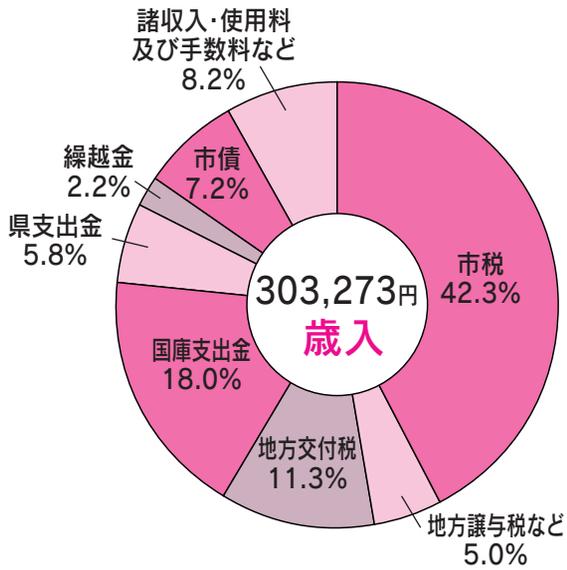
平成21年度の決算をお知らせします。

平成21年度 一般会計

市民1人あたりの歳入と歳出

人口：100,383人

(平成22年3月31日現在)



歳入		303,273円
市税	皆さんが納めた税金	128,465円
地方交付税	地方財政を補うために国から交付されたお金	34,424円
国庫支出金	市の事業に対し、国から交付されたお金	54,623円
市債	国や金融機関から借入れたお金	21,744円
県支出金	市の事業に対し、県から交付されたお金	17,489円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	6,651円
諸収入・繰入金	基金(貯金)を取り崩したお金など	
使用料・手数料	施設の使用料や証明書発行の手数料など	24,763円
財産収入など	市有地を売却して得たお金など	
地方譲与税など	国の自動車重量税などから分配されたお金など	15,114円

歳出		293,166円
民生費	高齢者、障害者、児童などの福祉の費用	93,923円
公債費	国や金融機関などから借入れたお金の返済費用	35,857円
総務費	防災対策、情報化推進、戸籍・住民票などの費用	54,238円
教育費	小・中学校、幼稚園、生涯学習や文化・スポーツ振興の費用	33,132円
土木費	道路、河川、公園などの費用	27,470円
衛生費	ごみ処理、保健衛生などの費用	22,447円
消防費・商工費など	消防、商工業・農林水産業の振興、市議会などの費用	26,099円

性質別の内訳・・・どのようなことに使われたか

人件費	職員給料や議員報酬などの費用	42,822円
扶助費	生活保護費や高齢者・障害者への給付費、児童手当などの費用	55,195円
公債費	国や金融機関などから借入れたお金の返済費用	35,859円
普通建設事業費など	道路や学校などの建設費、災害復旧費などの費用	36,413円
物件費	物品購入、賃借料、賃金などの費用	33,269円
補助費など	各種団体への補助金や負担金などの費用	47,592円
その他	維持補修費や積立金、出資金、貸付金、他会計繰出金などの費用	42,016円

平成21年度の**主な事業**

● 定額給付金給付事業	15億1,911万3千円	● 敬老会運営費助成金	2,072万4千円
● 児童手当支給事業	8億4,196万3千円	● 保育園施設整備補助金	1億2,606万8千円
● 児童クラブ施設整備事業	1億691万7千円	● 生活保護事業	17億1,017万5千円
● 病院群輪番制運営事業補助金	1,857万8千円	● ごみ処理事業	12億3,699万7千円
● 古紙集団回収奨励金	3,501万2千円	● 荒廃森林再生事業	3,159万8千円
● プレミアム商品券補助金	2,730万円	● 中小企業融資預託事業	3億2,398万8千円
● J R二日市駅バリアフリー整備促進事業	8,441万3千円	● J R原田駅バリアフリー整備促進事業	3,400万円
● J R二日市駅地区整備事業	1億3,267万6千円	● 筑紫駅西口土地区画整理事業	3億8,338万3千円
● 幼稚園就園奨励金	9,516万円	● 小学校耐震補強・改築工事	5億1,909万1千円
● 文化会館補修工事	1億2,143万7千円	(二日市小学校・二日市東小学校)	
● 農林業用施設災害復旧費	1億7,342万7千円	● 公共土木施設災害復旧費	2億7,915万2千円

決算収支

実質収支は21年度も黒字に

平成21年度筑紫野市一般会計においては、平成22年度に繰り越す財源4億4,531万4千円を除くと、5億6,922万9千円の黒字でした。

(財源・性質別)

一般会計の歳入は **304億4,346万1千円** で前年度に比べ14.3%増となりました。

自主財源 (市が自主的に調達できるお金) **160億4,916万4千円** 歳入全体の **52.7%**

●市税 ●分担金及び負担金 ●財産収入 ●繰入金 ●繰越金 など

※市税のうち、目的税(入湯税619万1千円、都市計画税8億7,758万9千円)は各事業に充当。

依存財源 (国・県からの交付金や借入したお金) **143億9,429万7千円** 歳入全体の **47.3%**

●地方譲与税 ●地方交付税 ●国庫支出金 ●市債 など

一般会計の歳出は **294億2,891万8千円** で前年度に比べ13.3%増となりました。

義務的経費 (毎年必ず支出が必要となる固定的な経費) **134億3,889万円** 歳出全体の **45.6%**

●人件費 ●扶助費 ●公債費

投資的経費 (将来に残るものに支出する経費) **36億5,521万2千円** 歳出全体の **12.4%**

●普通建設事業費 など

その他の経費 **123億3,481万6千円** 歳出全体の **42.0%**

●物件費 ●維持補修費 ●補助費 ●繰出金 など

市民1人あたりの基金残高(貯金) **70,500円** (前年度比 3,157円増)

基金名	20年度末残高	21年度末残高
財政調整	17億3,729万9千円	19億4,177万7千円
公共施設等整備	17億2,934万6千円	17億7,039万5千円
庁舎建設	19億2,657万2千円	19億2,765万3千円
その他	13億3,090万5千円	14億3,719万3千円
一般会計(計)	67億2,412万2千円	70億7,701万8千円

市民1人あたりの市債残高(借金) **310,905円** (前年度比 9,250円減)

会計名	20年度末残高	21年度末残高
一般	319億6,720万円	312億953万3千円

問い合わせ先で電話番号を掲載していない課・担当などは、市役所本庁 ☎(923)1111にお願いします

特別会計・公営企業会計の決算収支

特別会計

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	81億8,908万4千円	80億2,196万4千円
老人保健事業	1,039万9千円	787万1千円
住宅新築資金等貸付事業	4,065万9千円	4,007万1千円
奨学資金貸与事業	567万4千円	567万4千円
介護保険事業	46億3,238万4千円	45億6,046万2千円
後期高齢者医療事業	15億5,079万5千円	15億2,612万4千円
農業集落排水事業	2億1,901万5千円	2億1,901万5千円
土地取得事業	6億4,560万3千円	6億4,560万3千円
二日市財産区	292万7千円	273万円
御笠財産区	604万円	473万5千円
平等寺山財産区	865万1千円	865万1千円
計	153億1,123万1千円	150億4,290万円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込)

会計名	収入	支出	
水道事業	収益的収支	18億1,489万6千円	16億5,779万4千円
	資本的収支	8,433万円	5億7,755万2千円
下水道事業	収益的収支	19億2,954万4千円	18億4,285万8千円
	資本的収支	9億8,332万7千円	13億9,475万3千円
計	48億1,209万7千円	54億7,295万7千円	

一般会計から特別・公営企業会計への繰出金の状況

款	会計名	平成21年度決算額
総務費	土地取得事業	6億4,560万3千円
民生費	国民健康保険事業	5億2,419万4千円
民生費	介護保険事業	6億7,755万6千円
民生費	後期高齢者医療事業	8億1,796万6千円
農林水産業費	農業集落排水事業	1億7,671万4千円
土木費	下水道事業	7億49万7千円
教育費	奨学資金貸与事業	237万8千円
計		35億4,490万8千円

基金の状況

基金名	20年度末残高	21年度末残高	前年度増減額
保険給付費支払準備(介護保険)	1億2,737万7千円	1億3,969万8千円	1,232万1千円
公債償還積立金(住宅新築資金等貸付)	1億7,425万8千円	1億5,565万円	▲1,860万8千円
奨学の	1,653万5千円	1,653万5千円	0円
その他	5,392万3千円	4,001万1千円	▲1,391万2千円
特別会計(計)	3億7,209万3千円	3億5,189万4千円	▲2,019万9千円

市債の状況

会計名	20年度末残高	21年度末残高	前年度増減額
特別	55億261万7千円	47億7,010万1千円	▲7億3,251万6千円
水道事業	66億5,211万2千円	63億9,429万6千円	▲2億5,781万6千円
下水道事業	147億6,461万9千円	144億3,215万4千円	▲3億3,246万5千円
計	269億1,934万8千円	255億9,655万1千円	▲13億2,279万7千円

財政健全化計画は目標を達成しました

平成16年10月に、平成17年度から平成21年度までを計画期間とする「筑紫野市財政健全化計画」を策定し取り組みを行ってきました。
財政健全化計画は、具体的な数値目標を掲げ、ほぼ達成することができました。
この計画の目標に対しての結果は次のとおりです。

①赤字財政団体への転落を回避するとともに、平成21年度までに収支均衡を図る。

一般会計決算	歳入（基金繰入除く）	歳出	基金繰入額	基金積立額
平成17年度	261億1,933万5千円	276億9,663万円	31億8,157万円	3億486万3千円
平成21年度	299億8,435万1千円	294億2,891万8千円	4億5,911万円	8億1,200万6千円

結果：達成（平成21年度では、赤字財政団体へ転落することなく、収支均衡を図っています。）

②今後5年間は起債制限比率を14%以内とする。

（当初計画） 公債費の抑制を図り起債制限比率が14%を超えないようにする。
（修正プログラム） 起債制限比率14%を、実質公債費比率に変更し、18%を超えないようにする。

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
実質公債費比率	13.1%	13.4%	13.3%	12.2%	12.7%

結果：達成（5年間で実質公債費比率は18%を超えませんでした。）

③今後5年間で市債残高を80億円減少させる。（普通会計）

区分	平成16年度（基準年度）	平成21年度	累計増減額
市債残高	428億7,066万2千円	339億5,542万5千円	▲89億1,523万7千円

結果：達成（5年間の累計額で市債残高は約89億円減少しました。）

④今後5年間で基金取崩しは60億円を限度とする。（普通会計）

区分	平成16年度（基準年度）	平成21年度	累計増減額
基金残高	83億8,858万5千円	72億2,461万7千円	▲11億6,396万8千円

結果：達成（5年間の累計増減額で約12億円の基金取崩にとどめました。）

⑤他会計への繰出金は、ルール分を除き行わない。

（当初計画） 国民健康保険事業特別会計および下水道事業会計への赤字補てんとしての繰出金は1億円を上限とする。
（修正プログラム） 国民健康保険事業特別会計への繰出金（赤字補てん分）限度額を2億円とする。
下水道事業会計への繰出金（赤字補てん分）限度額を1億5千万円とする。

会計	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
国民健康保険事業	2億2,270万4千円	2億2,929万4千円	4億430万4千円	1億8,999万円	5,694万円
下水道事業	9,789万円	—	—	—	—

結果：達成

（国民健康保険事業については、平成20年度以降は、目標の2億円の限度額を下回りました。）
（下水道事業については、平成17年度を除き、赤字補てん分の繰出しは行っていません。）